

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 P S J (TypeC2) - 3 R (三菱Jケミカルカラー印画紙用トータルコントロールスタビライザー補充剤)
会社情報 会社名 : 三菱製紙株式会社
住所 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号
担当部門 : 技術環境部
問い合わせ窓口 : イメージング事業部 I J・フォト営業部 (電話番号03-6860-7580)

2. 危険有害性の要約

GHS分類 (分類基準は日本方式) : 分類基準に該当しない。

人の健康に対する有害な影響

誤飲 人体への毒性影響は少ない。

吸入 粉の発生を極力抑えてあるが、万一粉を吸入すると、鼻腔や気管の粘膜を刺激することがある。

眼 粉の発生を極力抑えてあるが、万一粉が眼に入ると眼、粘膜を刺激することがある。

皮膚 錠剤に直接接触することや粉の発生を極力抑えてあるが、万一錠剤や粉に触れると皮膚を軽度

長期 IARC, NTP, ACGIHおよび日本産業衛生学会の発がん性の分類リストに、発がん性物質として記載されている物質は含有していない。

物理化学的危険性 : 特になし。

化学物質等の分類 : 分類基準に該当しない。

注意書き

不浸透性保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること

換気のある所で使用すること

味見をしたり、飲んだりしないこと

取扱い後は十分に洗浄すること

誤って目や皮膚に付着した場合、直ちに流水で15分以上洗う。

処理薬品の使用方法に従って正しく使用すること

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

一般名 : トータルコントロールスタビライザー補充剤

成分及び含有量	化審法	CAS No.	含有量%
エチレンジアミン四酢酸ジナトリウム	既存	—	2.5 - 3.0
ホスホン酸誘導体	既存	—	2.0 - 2.5
スチルベン誘導体	既存	—	1.5 - 2.0
芳香族化合物	既存	—	1.0 - 1.5
ポリオキシ誘導体	既存	—	5 - 10
オクタンスルホン酸ナトリウム	(2)-1640	5324-84-5	1 - 5
o-フェニルフェノール【PRTR法第1種346】	(4)-19	90-43-7	1.0 - 5.0

【PRTR法】の表示のあるものは、化学物質管理促進法の対象物質を示し、分類と政令番号を併記していません。

4. 応急措置

吸入した場合 : 粉を吸入した場合は、直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、医師の手当てを受けてください。

皮膚に付着した場合 : 直ちに15分以上、大量の水で十分に洗い流してください。汚染された衣服等は脱ぎ、充分洗浄した上で使用してください。異常を感じた場合は医師の手当てを受けてください。

眼に入った場合 : 粉が眼に入った場合は、直ちに15分以上、清浄な流水で眼を洗浄したのち、速やかに眼科医の手当てを受けてください。

誤飲した場合 : 直ちに水で口の中を良く洗ったのち、コップ1~2杯の水を飲ませてください。速やかに医師の手当てを受け、指示があった場合のみ吐かせてください。意識のない場合は口から何も与えてはならないし、無理に吐かせようとしてもなりません。

応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用してください。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 散水、炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等
使ってはならない消火剤 : データなし。
特定の消火方法 : 周辺火災の場合には可能ならば移動可能な容器は速やかに安全な場所に移してください。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させてください。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないよう配慮してください。消火活動は出来るだけ風上から行ってください。
保護具等 : 消火の際は適切な保護具（自給式呼吸器具、及び完全保護具等）を着用してください。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用して回収してください。（8章参照）
環境に対する注意事項 : 漏出した物質が河川等に排出されないように注意してください。
除去方法 : 掃き集めて回収し、廃液タンクに入れてください。その後、漏出箇所を大量の水で洗い流してください。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにしてください。取扱い後に、手や顔等をよく洗ってください。
保管 : 通常使用する場合には、火災防止の為の特別な設備予防措置は必要ありません。
安全な包装容器材料 : 混触禁止物質（10章参照）より遠ざけて、乾燥した冷暗所に貯蔵してください。直射日光を避け、涼しい場所に置いてください。子供の手の届くところには置かないでください。
密閉容器に保管してください。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いは換気の良い場所で行ってください。
管理濃度 安衛法管理濃度 : 未設定
許容濃度 日本産業衛生学会 : 未設定
ACGIH/TWA : 未設定
保護具
呼吸器 : 通常の実用条件では必要なし。錠剤や粉に直接触れる場合は、簡易防塵マスクを着用する。
手 : 通常の実用条件では必要なし。錠剤や粉に直接触れる場合は、不浸透性保護手袋を着用する。
眼 : 通常の実用条件では必要なし。錠剤や粉に直接触れる場合は、保護眼鏡、及び顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体 : 通常の実用条件では必要なし。錠剤や粉に直接触れる場合は、保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 固体（錠剤）
色 : 淡黄色
臭い : 無臭
pH : -
沸点 : -
融点 : データ無し
引火点 : 引火性なし
爆発特性 : 特になし
溶解度 : 水に易溶
蒸気圧 : -

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の実用条件では安定である。
避けるべき条件 : 直射日光、凍結
混触禁忌物質 : 強酸、酸化剤
危険有害な分解生成物 : 硫酸化物（亜硫酸ガス等）、窒素酸化物、フォスフィン、一酸化炭素、炭酸ガス

11. 有害性情報

- 製品 :
急性毒性LD50 : >2000mg/Kg（ラット経口）
眼刺激性 : Moderate（ウサギ）
皮膚刺激性 : None P. I. I=0（ウサギ）
成分 :
エチレンジアミン四酢酸ジナトリウム
急性毒性LD50 : 2000mg/Kg（ラット経口）、2050mg/Kg（マウス経口）
眼刺激性 : Mild（ウサギ）
皮膚刺激性 : None P. I. I=0（ウサギ）
スチルベン誘導体
急性毒性LD50 : 5000mg/Kg（ラット経口）

眼刺激性	: Minimal (ウサギ)
皮膚刺激性	: Moderate (ウサギ)
ポリオキシン誘導体	
急性毒性LD50	: 5000mg/Kg (ラット経口)、76000mg/Kg (ウサギ経口)、 50900mg/Kg (モルモット経口)、>20000mg/Kg (ウサギ経皮)
眼刺激性	: Mild (ウサギ)
皮膚刺激性	: Mild (ウサギ)
1-オクタンスルホン酸ナトリウム	
急性毒性LD50	: >2000mg/Kg (ラット経口)
眼刺激性	: Severe (ウサギ)
皮膚刺激性	: None P. I. I=0 (ウサギ)
o-フェニルフェノール	
急性毒性LD50	: 2000mg/Kg (ラット経口)、1050mg/Kg (マウス経口)、2700mg/Kg (ラット経口)、2980mg/Kg (ラット経口)、500mg/Kg (ネコ経口) 2000mg/Kg (ラット経皮)
眼刺激性	: Corrosive (ウサギ)
皮膚刺激性	: Moderate (ウサギ)
発がん性	: IARC (国際がん研究機関) でグループ 3 (人に対する発がん性については分類できない) に分類されている。

1 2. 環境影響情報

成分

エチレンジアミン四酢酸ジナトリウム

残留性/分解性	: 難分解性
生態毒性	: 96hrLC50=500mg/l

o-フェニルフェノール

残留性/分解性	: 経済産業省の既存化学物質点検により良分解性であることが確認されている。
生態毒性	: 96hrLC50=20mg/l [Leuciscus idus]、48hrEC0: 0.38mg/l [Daphnia magna]

1 3. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を添えて、運搬、処理を委託してください。

廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法：産業廃棄物、水質汚濁防止法：生活環境項目、下水道法：下水の排除の制限】

汚染容器・包材 : 内容物を完全に除去した後に処分してください。

1 4. 輸送上の注意

船舶輸送は危規則の規定に従ってください。航空輸送はIATA規則の規定に従ってください。

国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
緊急時応急措置指針番号	: 非該当

1 5. 適用法令

安衛法	: 非該当
化管法	: 第1種 (o-フェニルフェノール)
毒劇法	: 非該当
消防法	: 非該当

1 6. その他の情報 (記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも充分でないので、取扱いには充分注意してください。